

「第2期琴浦すくすくプラン」中間見直しに 向けたニーズ調査報告書



令和3年11月

琴浦町

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、令和2年度から令和6年度までの5カ年を計画期間とする「第2期琴浦すくすくプラン」の中間見直しのために、町民の子育て状況や、子ども・子育てに関する要望・意見等を把握し、琴浦町の子ども・子育て支援を推進するための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査方法

【小学校就学前児童のいる世帯対象調査】

- (1) 調査対象 町内在住の小学校就学前の児童のいる世帯
 (2) 実施期間 令和3年6月15日～7月9日
 (3) 配布・回収方法 園を通して配布・回収
 (未就園の子ども在世帯については、別途郵送・Webで実施)
 (4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
約500	344	約68.8%

【小学生児童のいる世帯対象調査】

- (1) 調査対象 町内在住の小学生のいる世帯
 (2) 実施期間 令和3年6月15日～7月9日
 (3) 配布・回収方法 小学校を通して配布・回収
 (4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
約650	472	約72.6%

3 報告書の見方

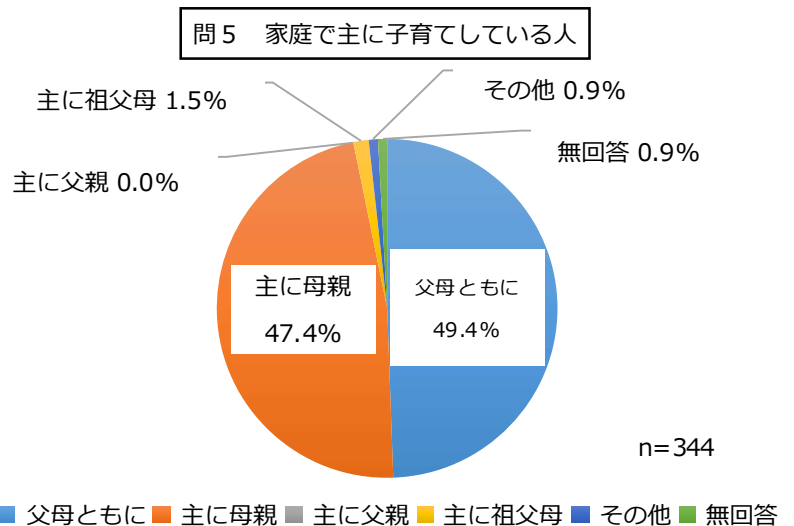
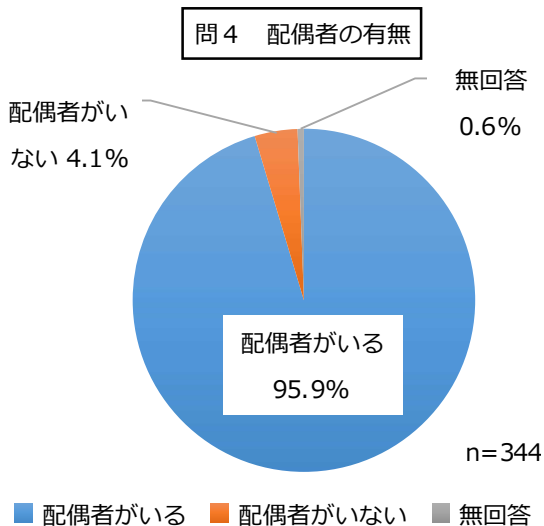
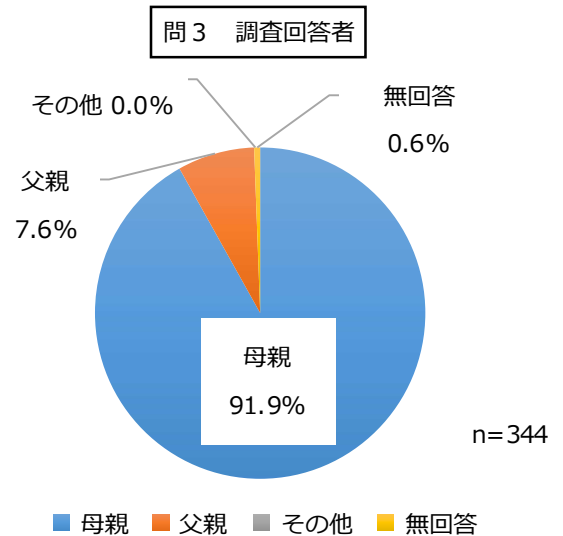
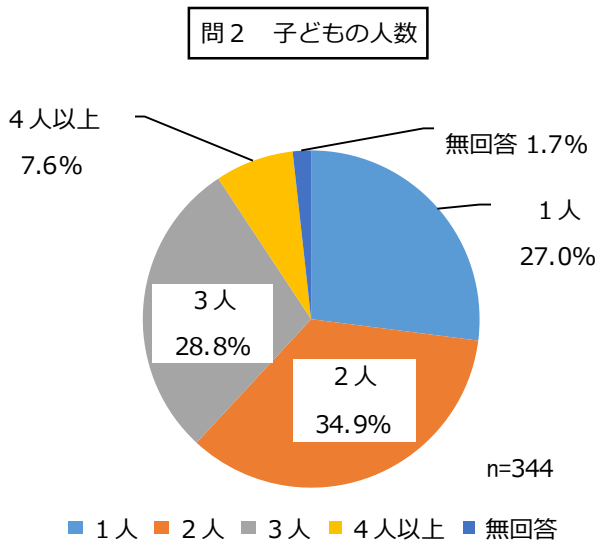
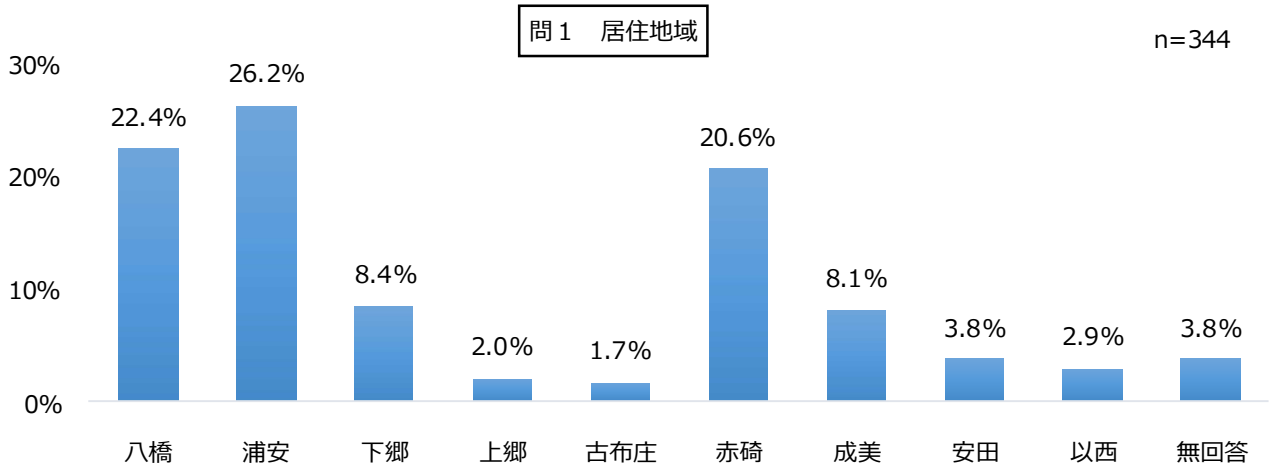
- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために百分率の合計が100%にならないことがある。
 (2) 複数回答が可能な質問があるため、回答の合計は回答者数を上回ることがある。
 (3) 図中の選択肢標記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。また0.0%の表記は省略している場合がある。
 (4) 設問によっては、過去のニーズ調査(H25、H30実施)との比較を行った。
 (5) 自由意見については、原文を尊重し、そのままの表記を原則としているが、表記の誤りなど、趣旨を損なわない範囲で訂正した箇所がある。

Ⅱ 就学前児童 調査結果

1 住まいの地域と家族の状況について

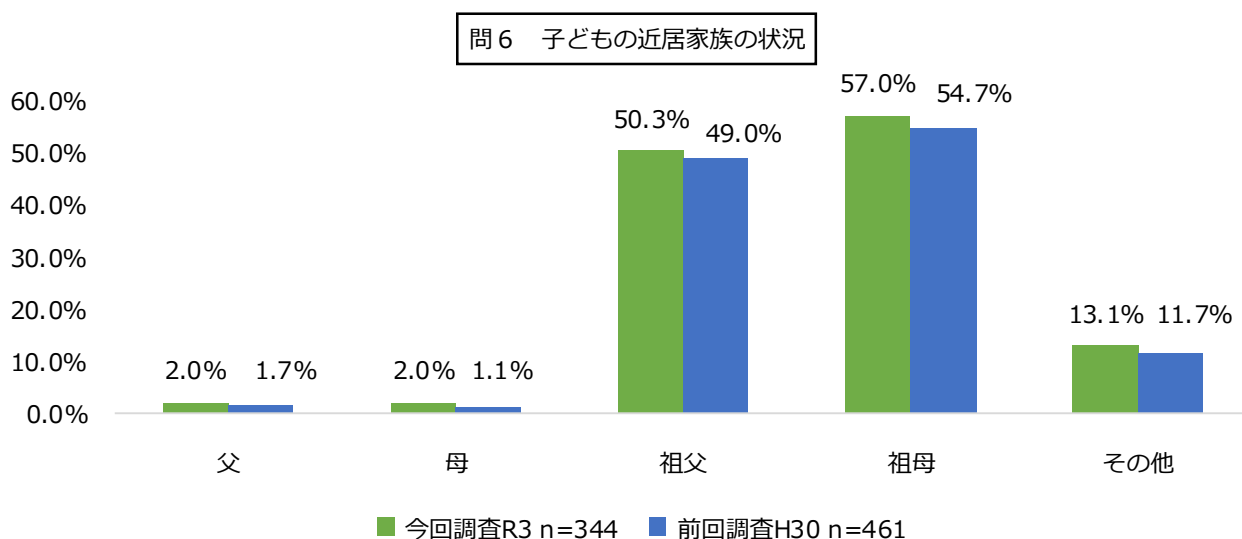
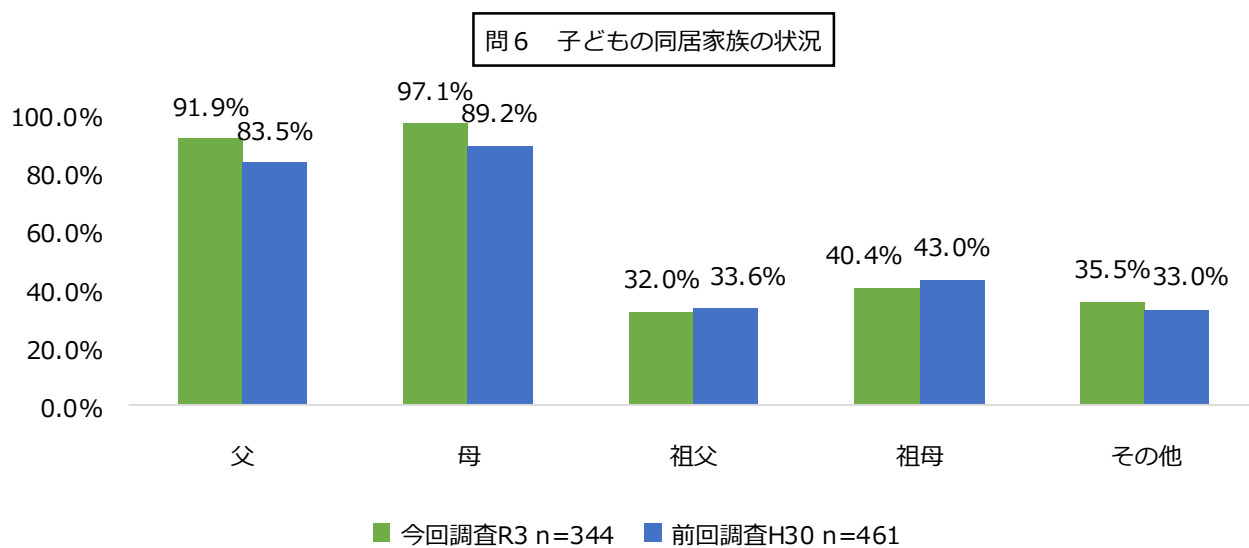
○子どもの人数は「2人」34.9%、「3人」28.8%の順に高い。子どもが3人以上の多子世帯は、36.4%で全体の約4割になる。

○主に子育てを行っているのは、「父母ともに」が49.4%（前回39.3%）と約10%増。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

○祖父母について同居と近居を合わせると高い割合で、近くに住んでいる状況であることがわかる。

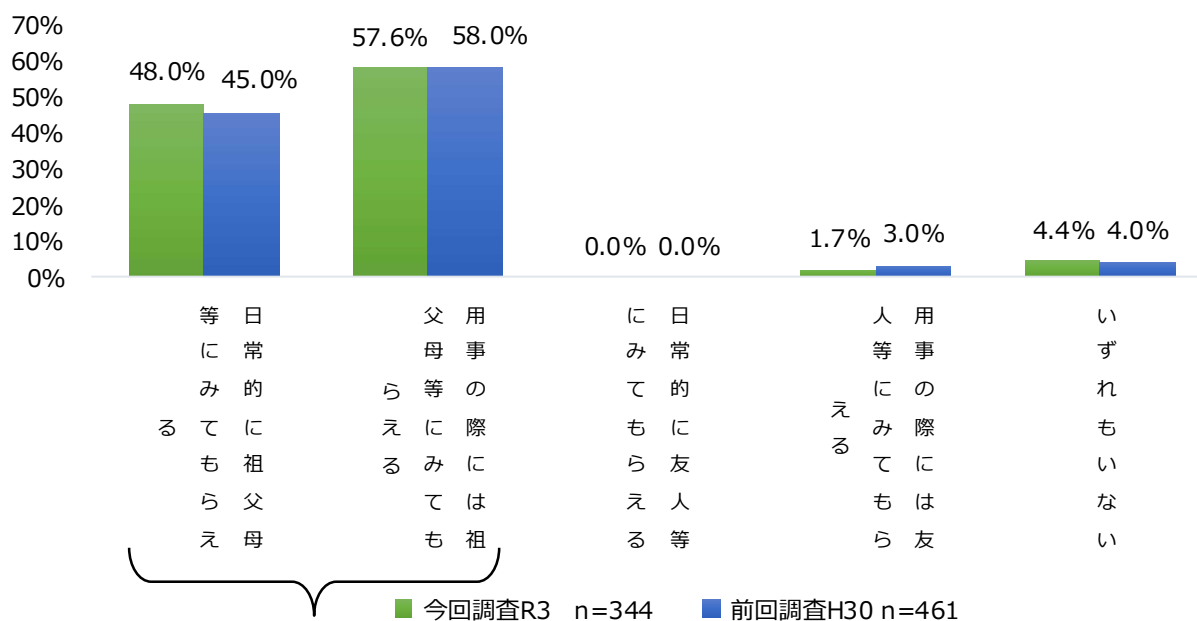


2 子どもの育ちをめぐる環境について

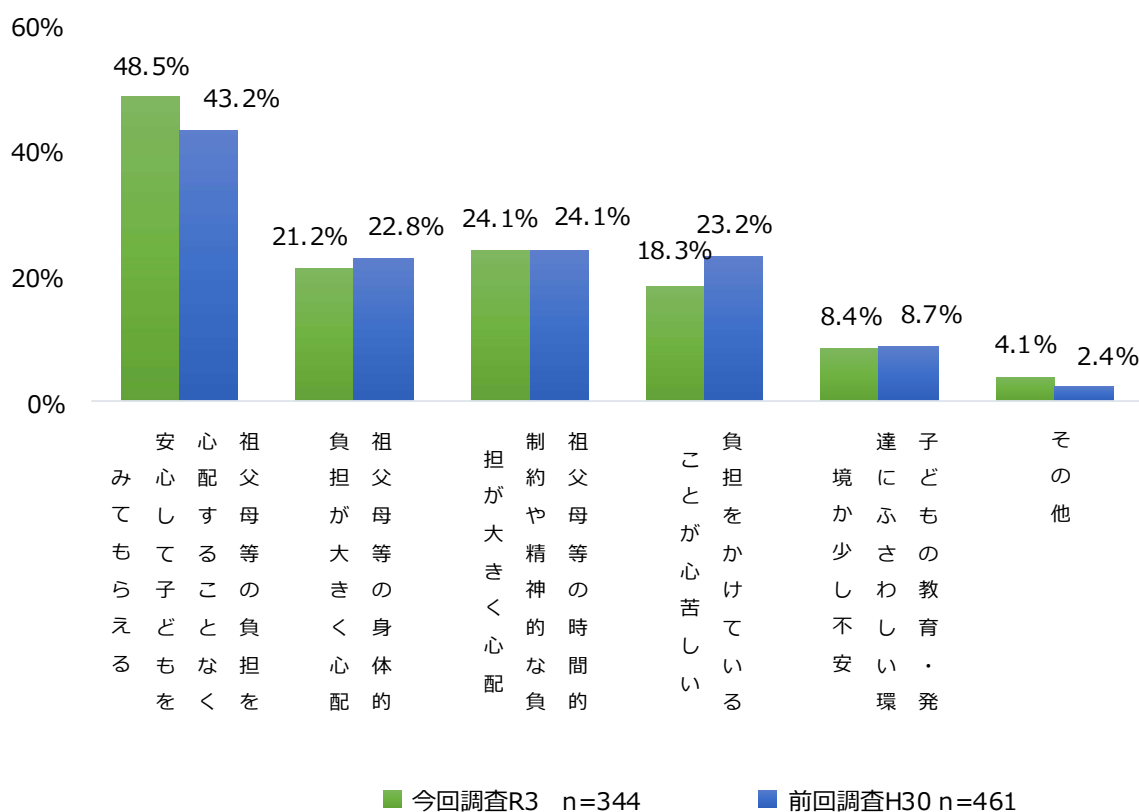
○「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」48.0%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえるが57.6%。

○祖父母等の親族にみてもらえる状況としては「祖父母等の負担を心配することなく安心して子どもをみてもらえる」が48.5%と前回調査の43.2%より増えている。

問7 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

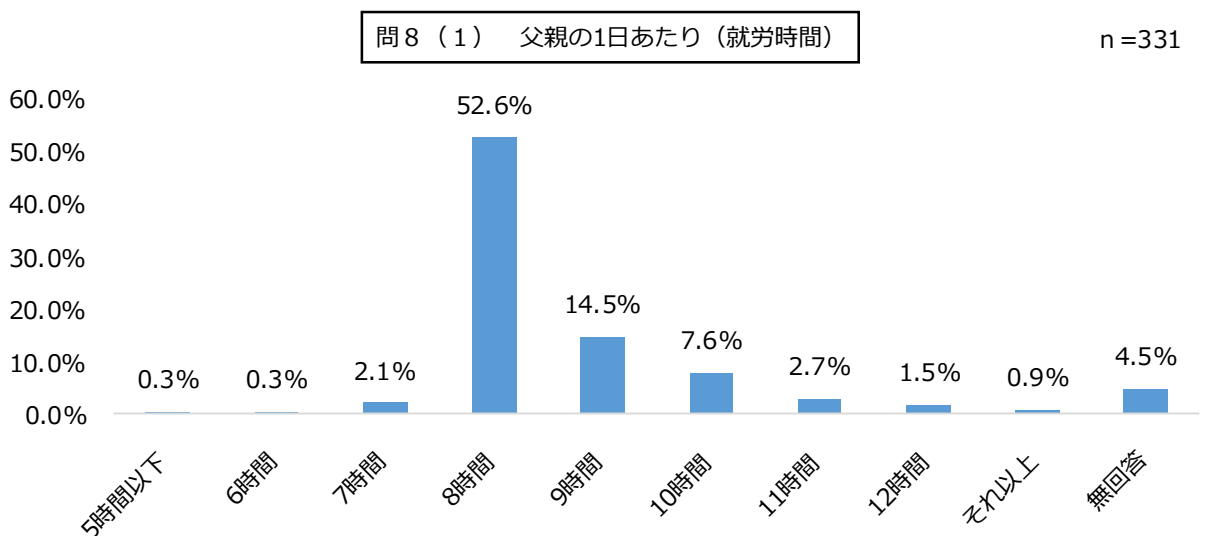
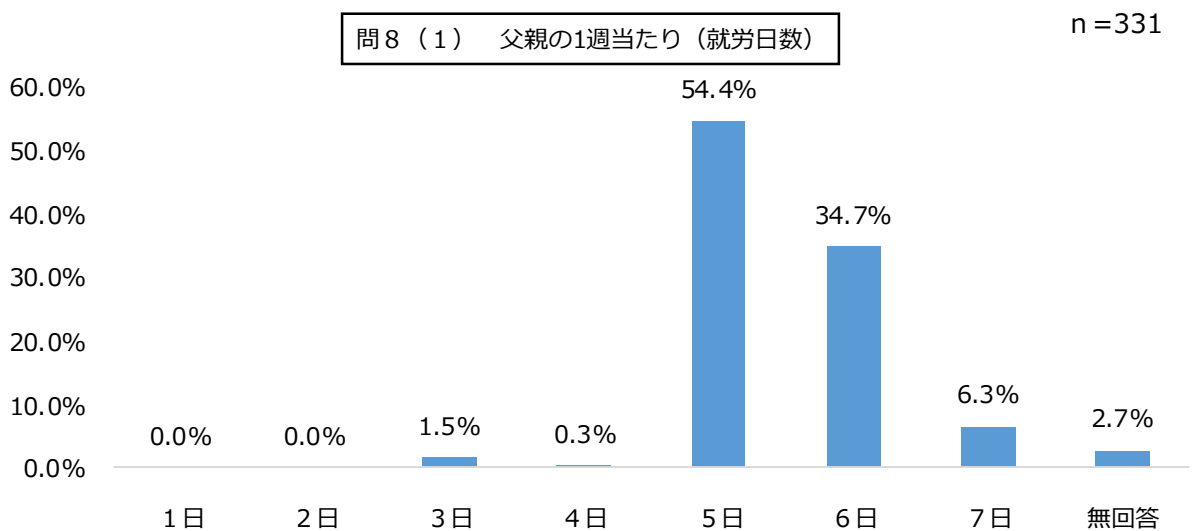
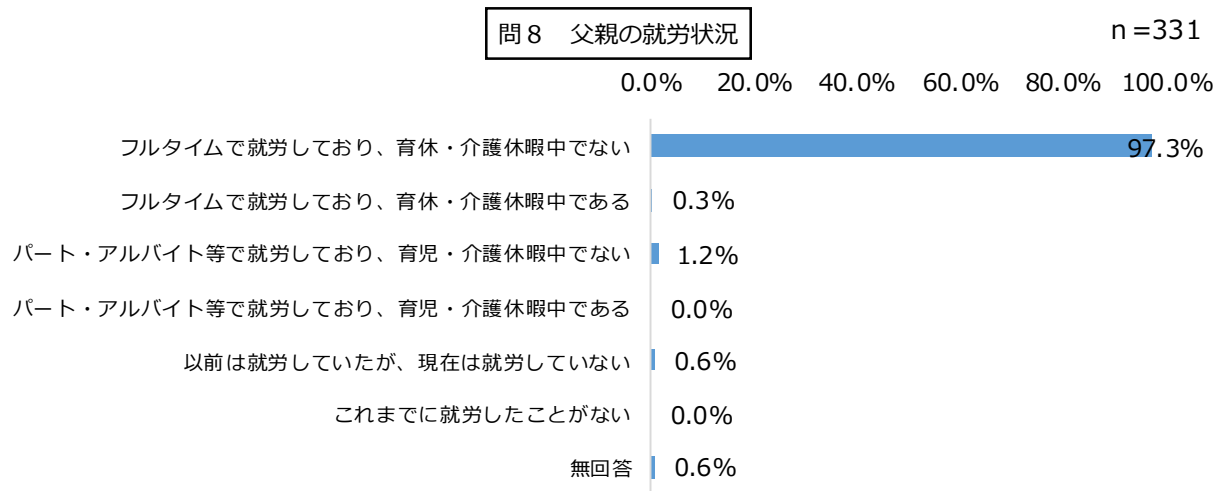


問7 (1) 祖父母当の親族にみてもらえる状況



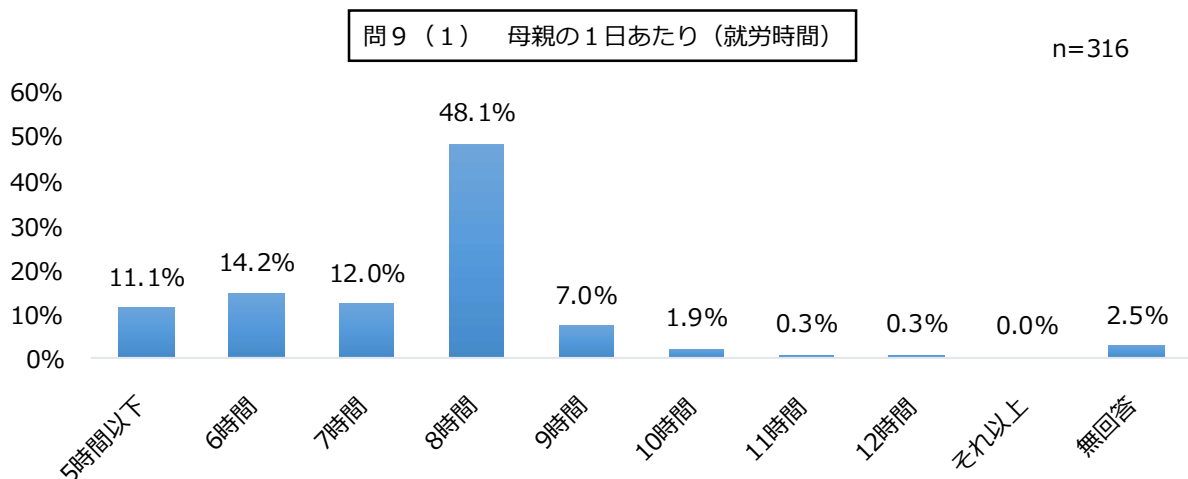
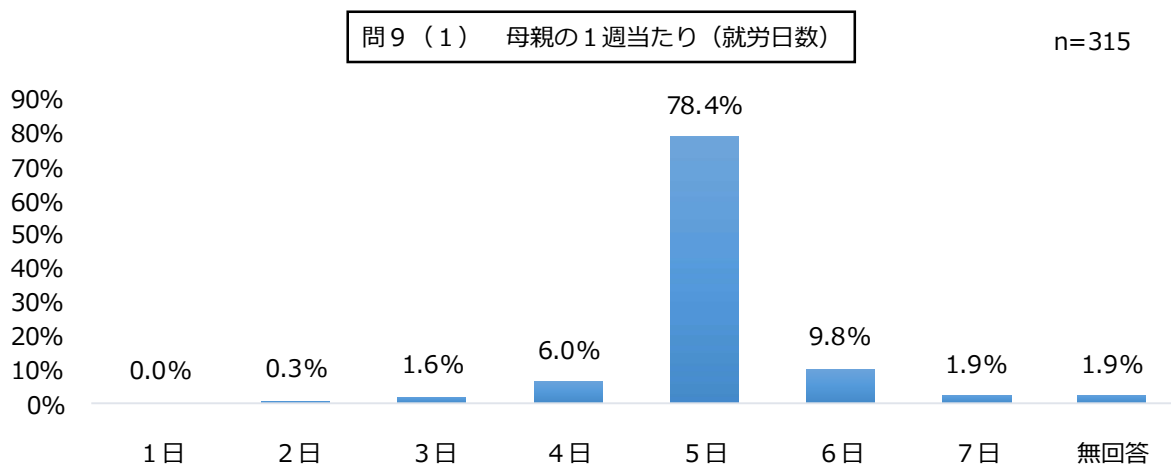
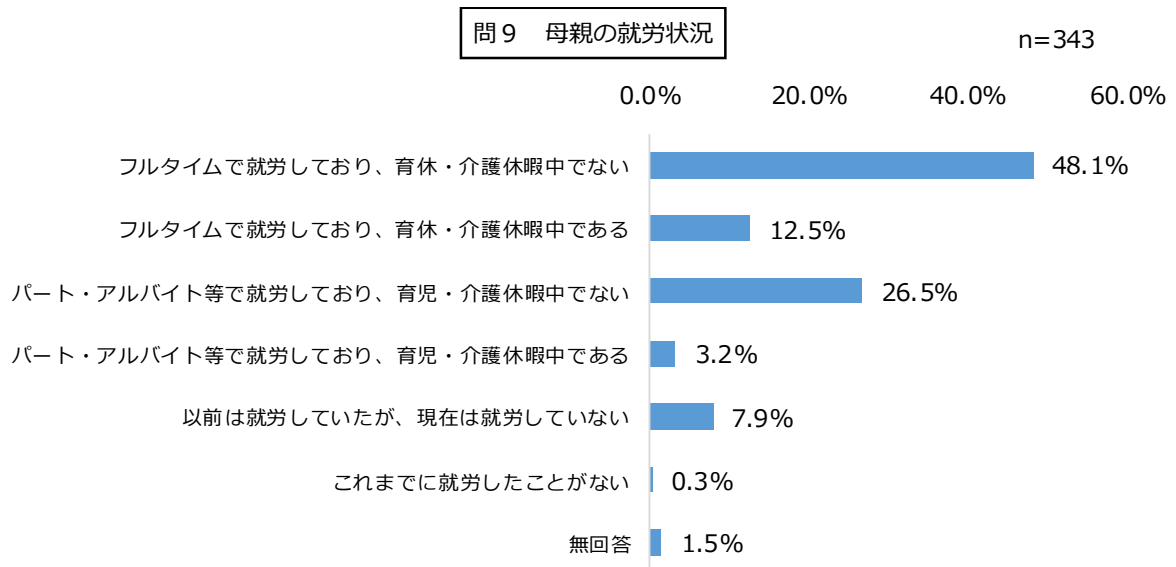
3 保護者の就労状況について

○フルタイムで就労している父親は、97.6%（休暇中含む）、1日の就労時間が9時間以上は、27.2%になる。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

○母親の就労状況は、フルタイムが 60.6%（休暇中含む）、パート・アルバイトが 29.7%（休暇中含む）で合わせて 90.3%になり、週 5 日以上勤務が 90.1%、8 時間以上の勤務が 57.6%になる。



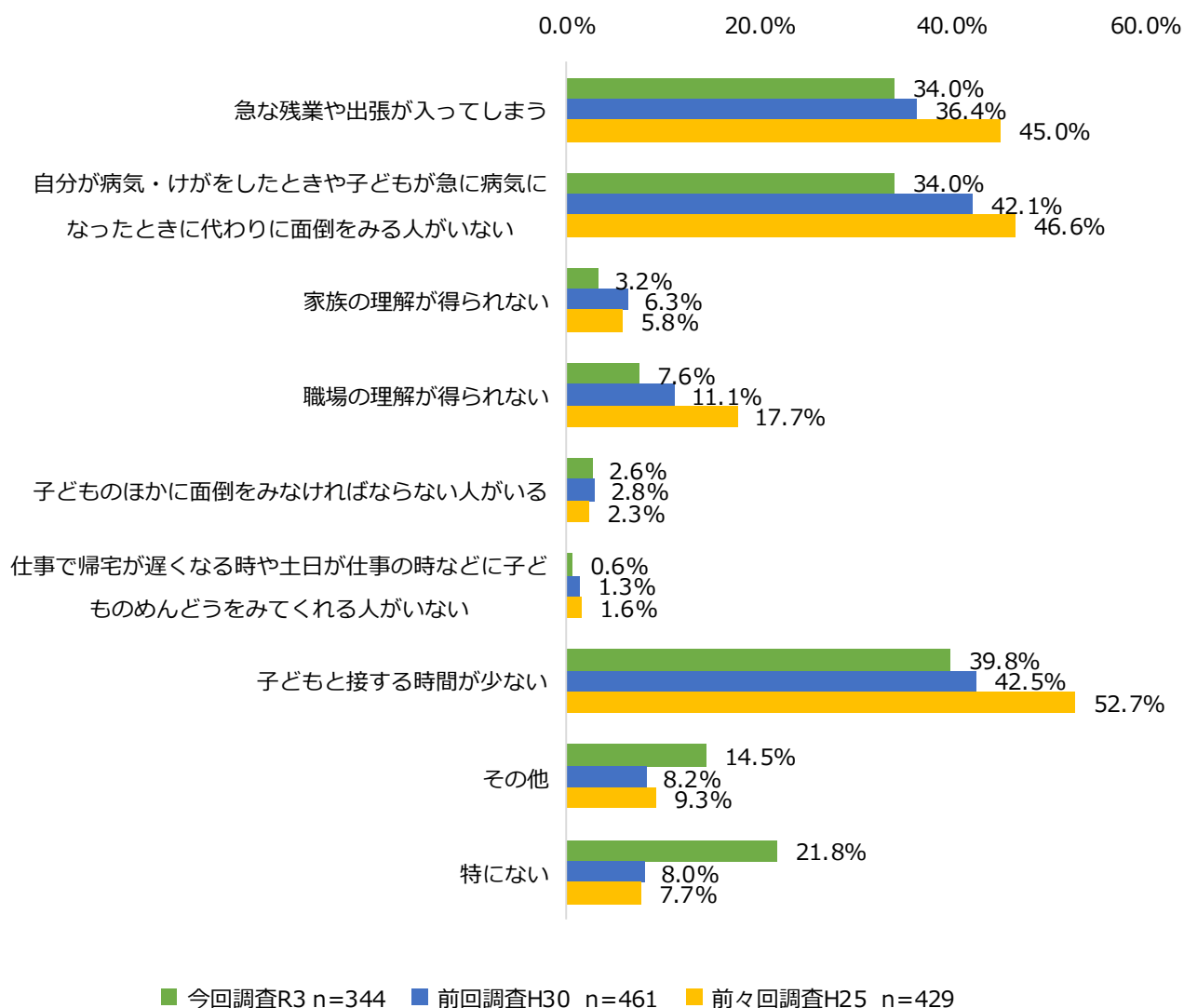
Ⅱ 就学前児童 調査結果

○仕事と子育てを両立させる上で大変なことについて、前回調査（H30）と前々回調査（H25）との比較を行った。

「急な残業や出張が入ってしまう」「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」「職場の理解が得られない」と感じる人が減少してきており、「特にない」の回答も、H25 調査では、7.7%だったのに対し、今回の調査では21.8%と14.1%増えている。このことから、子育てに対する、職場の理解やその他の子育て支援が進んできていることがわかる。

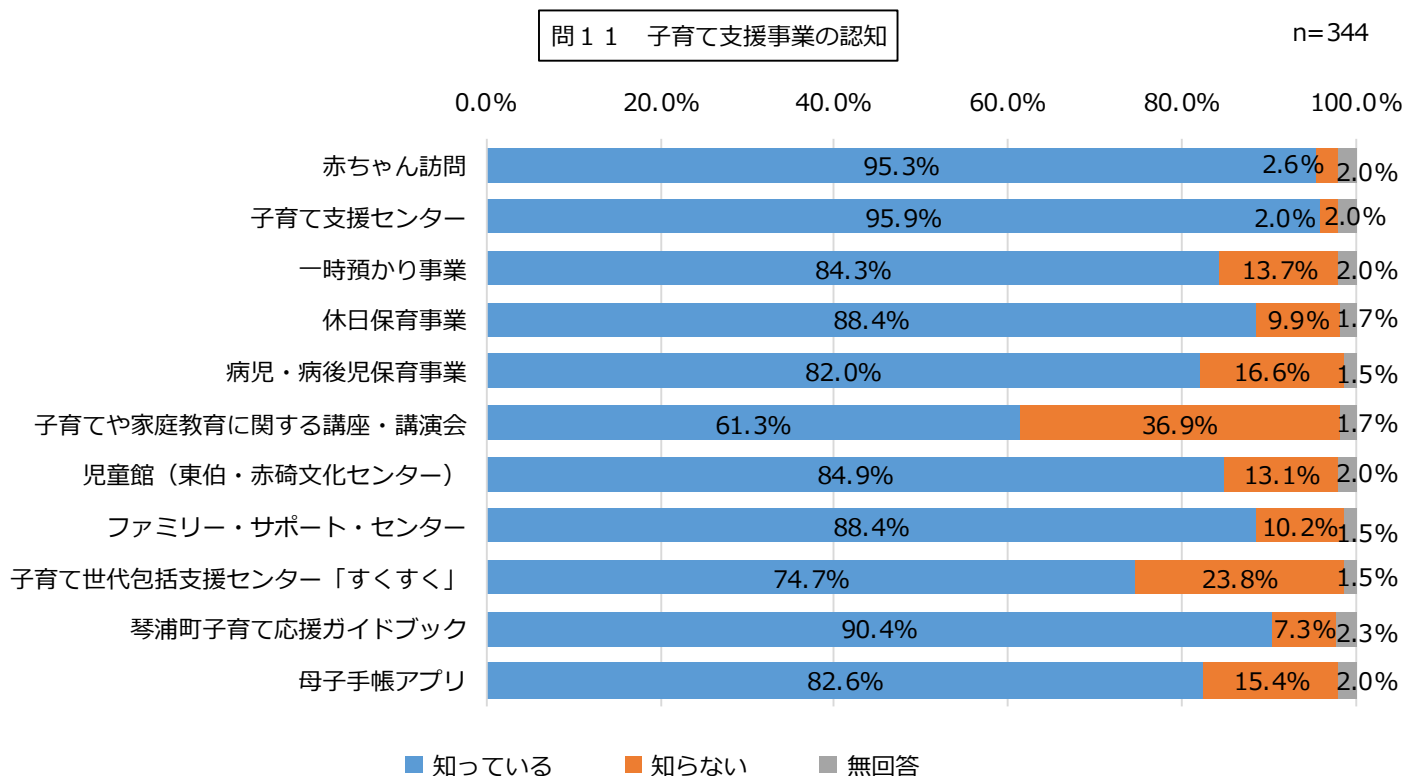
一方、「子どもと接する時間が少ない」と感じる人が、H25 調査では52.7%だったのに対し、今回調査では39.8%と12.9%減少している。保護者の意識も変化してきていることがわかる。

問10 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと（複数回答可）

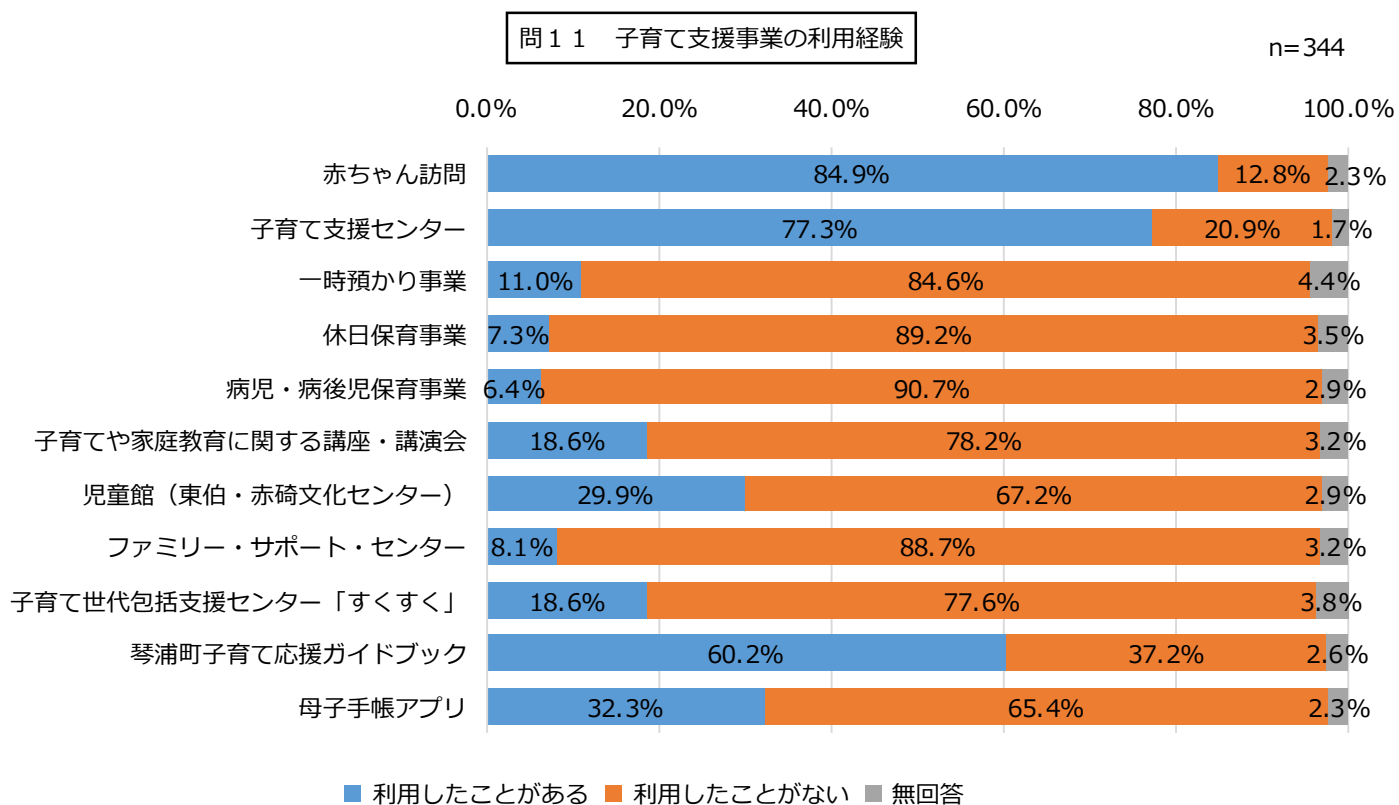


4 地域子ども・子育て支援事業の利用状況について

○町で実施している地域子ども・子育て支援事業は、概ね高い認知度になっている。

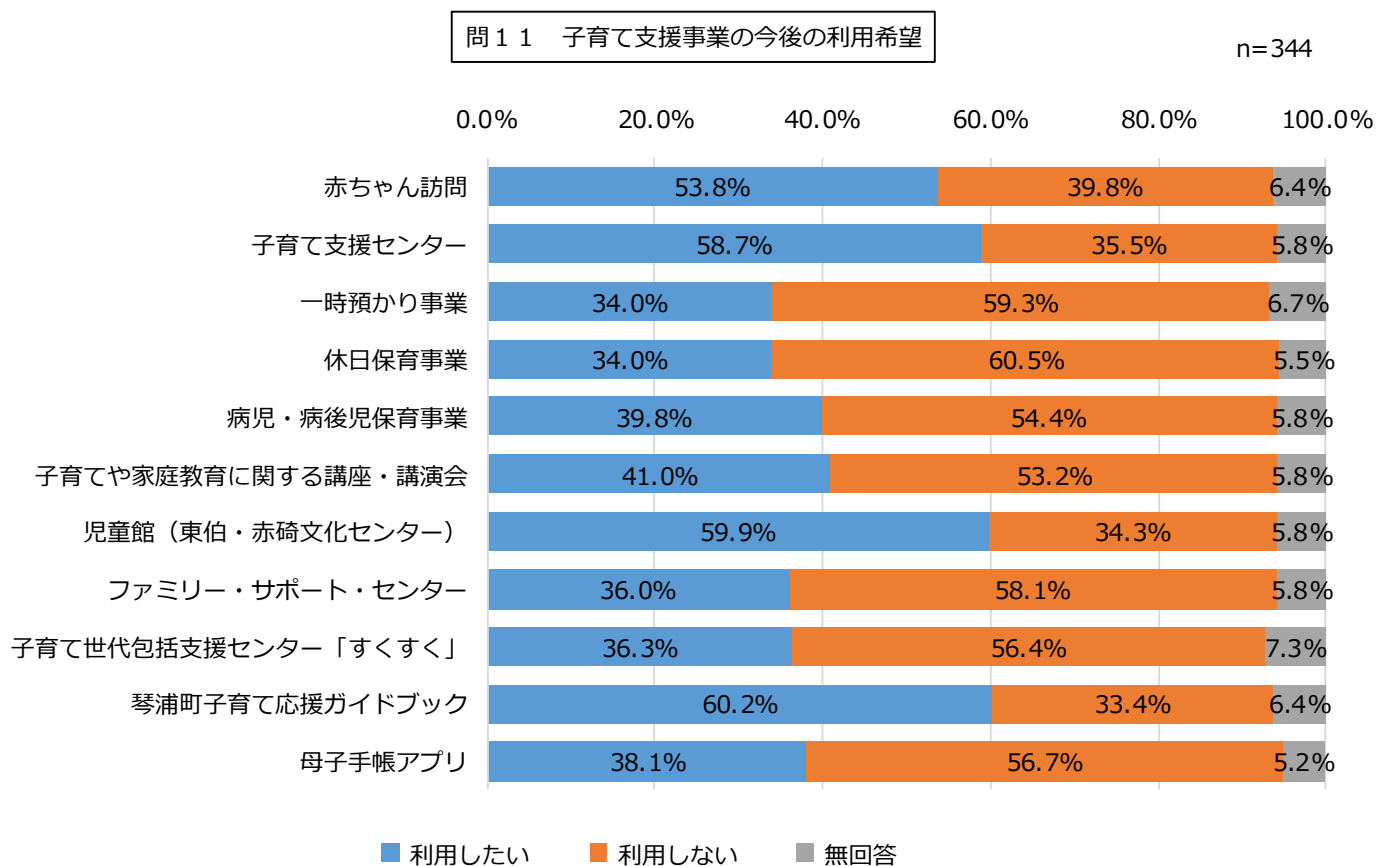


○利用経験については、子育て支援センター77.3%（前回調査 52.1%）、子育て応援ガイドブック 60.2%（前回調査 46.2%）と利用が増えている。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

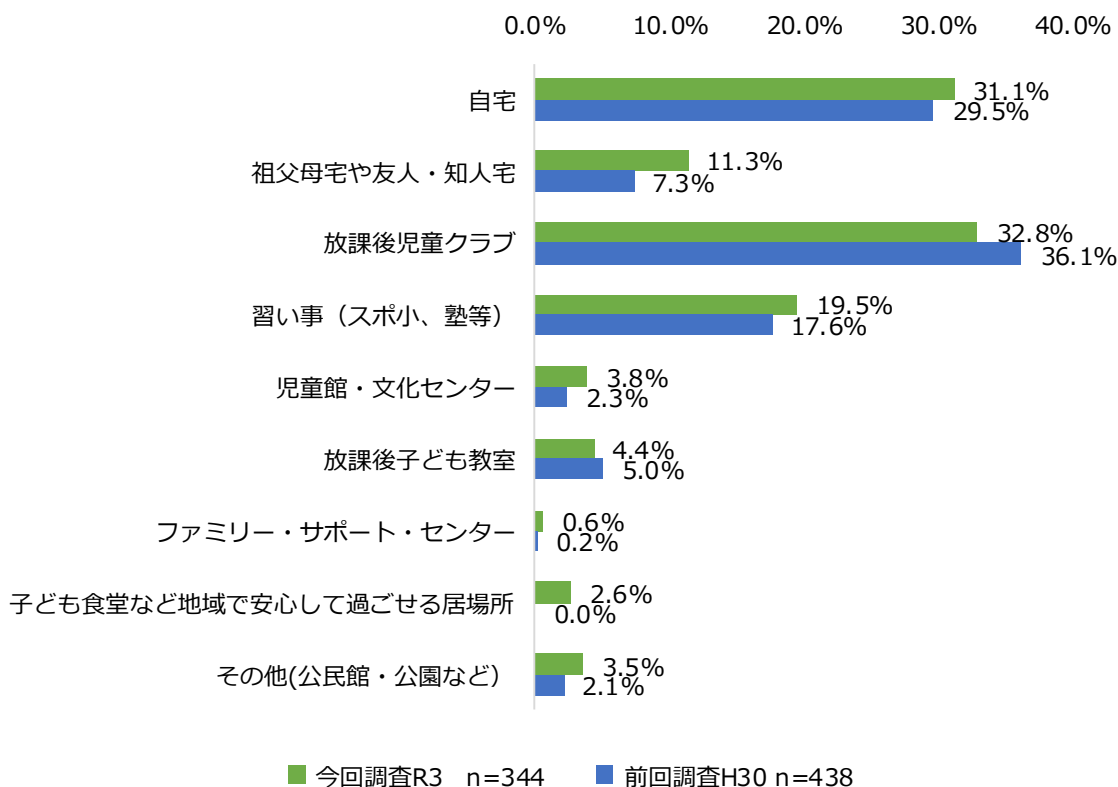
○今後の利用希望については、どの事業についても一定の利用希望がある。



5 小学校就学後の放課後の過ごし方について

○放課後に過ごさせたい場所として、放課後児童クラブがやや減少し、自宅や友人宅、習い事等の希望が増えている。

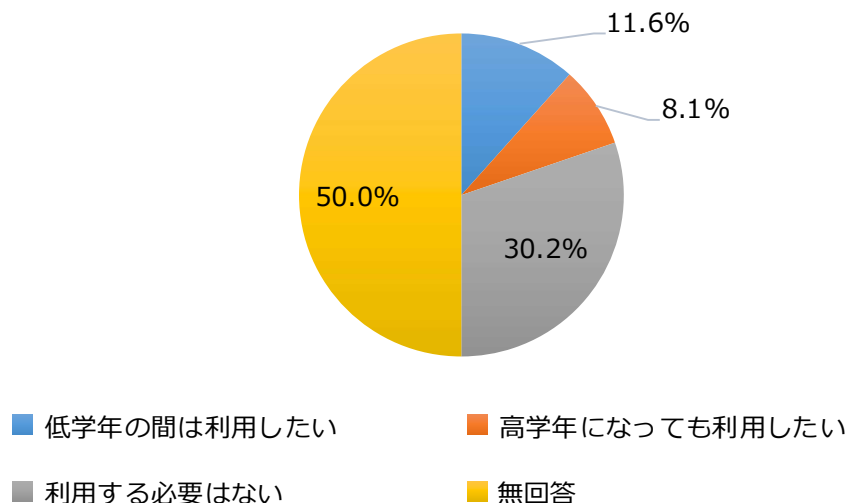
問 1 2 放課後に過ごさせたい場所



○土曜日の利用については、「低学年の間は利用したい」11.6%、「高学年になっても利用したい」8.6%、あわせて19.7%

問 1 3 (1) 放課後児童クラブの土曜日利用について

n=344

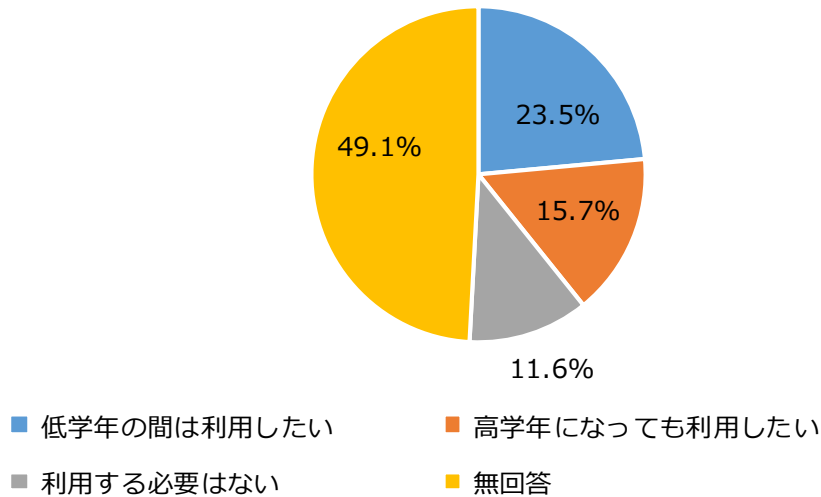


Ⅱ 就学前児童 調査結果

○夏休み等の長期休業の利用については、「低学年の間は利用したい」23.5%、「高学年になっても利用したい」15.7%、あわせて39.2%

問 1 3 (2) 夏休み等の長期休業の利用について

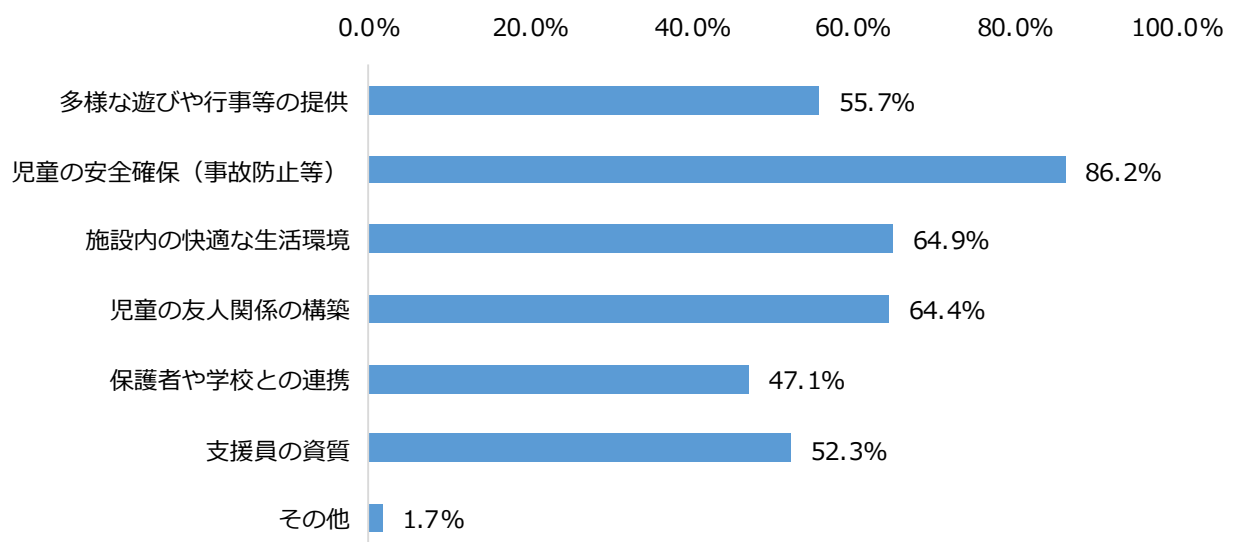
n=344



○放課後児童クラブの運営に関して重要なことについては、「児童の安全確保（事故防止等）」が86.2%と一番高い。

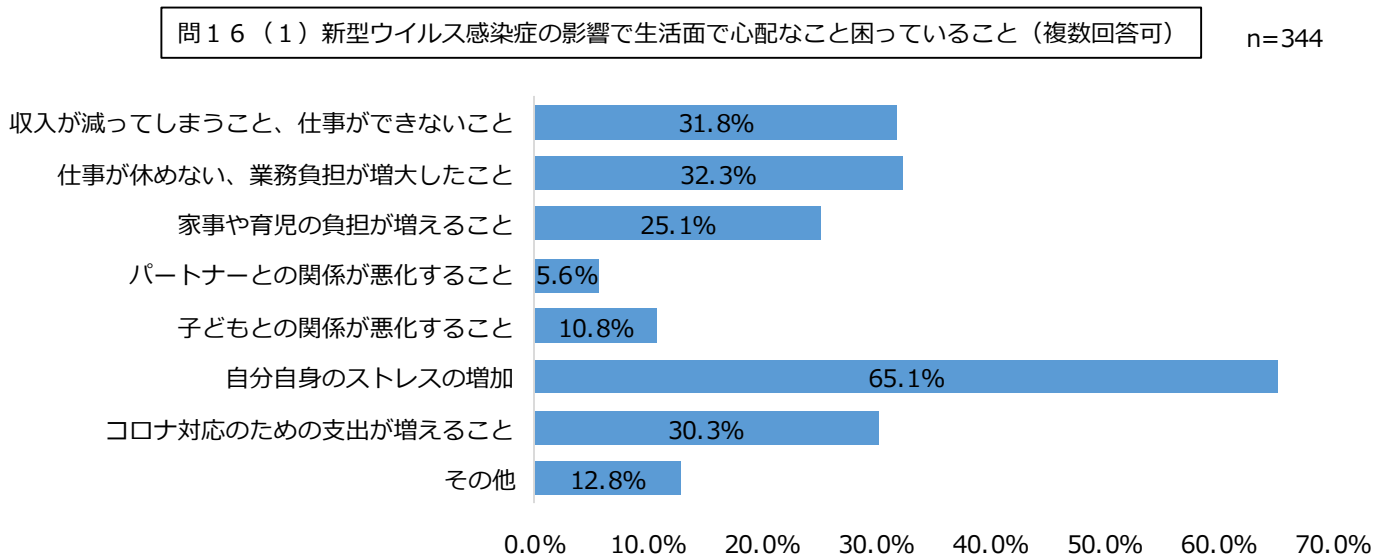
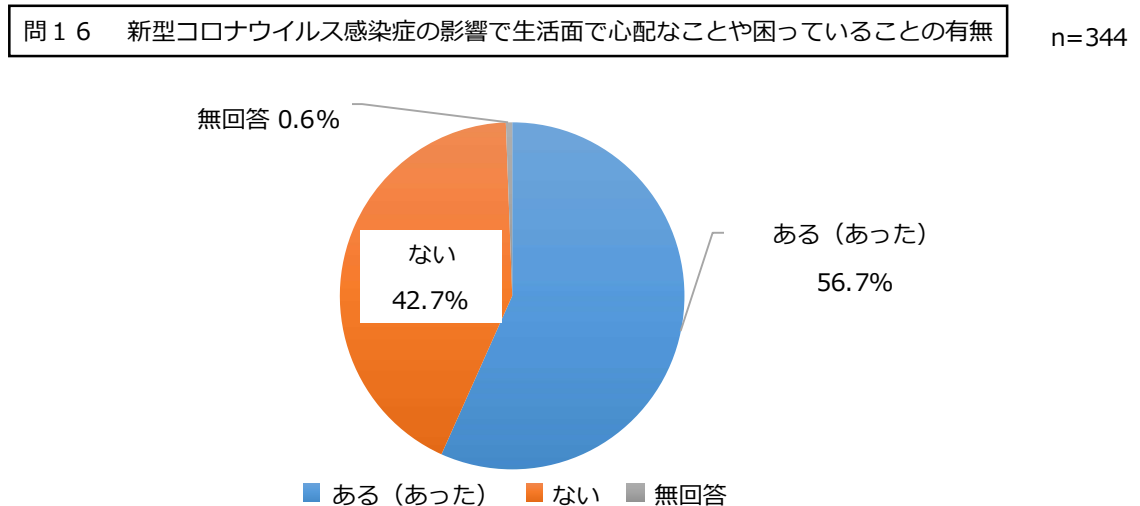
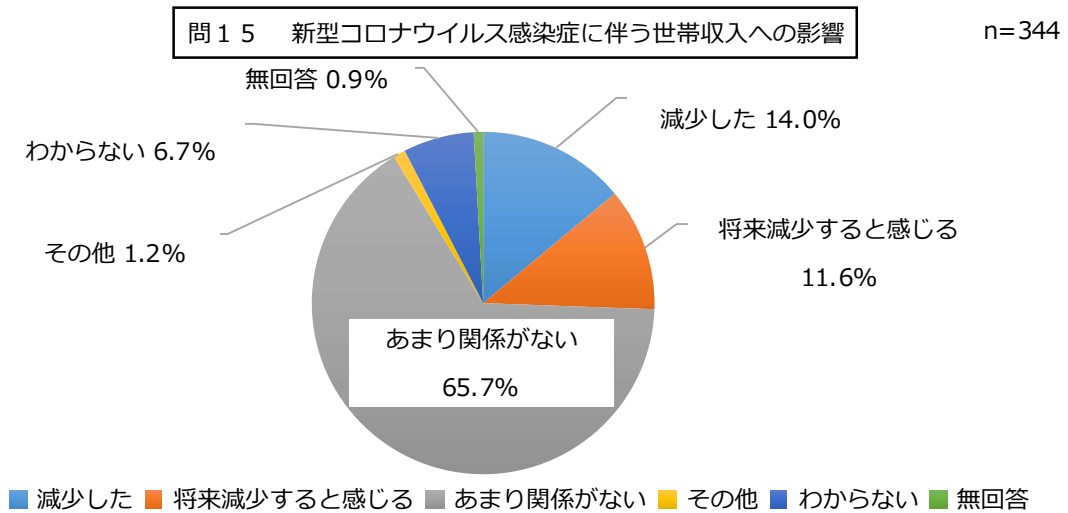
問 1 4 放課後児童クラブの運営に関して重要なこと(複数回答可)

n=174



6 新型コロナウイルス感染症の影響について

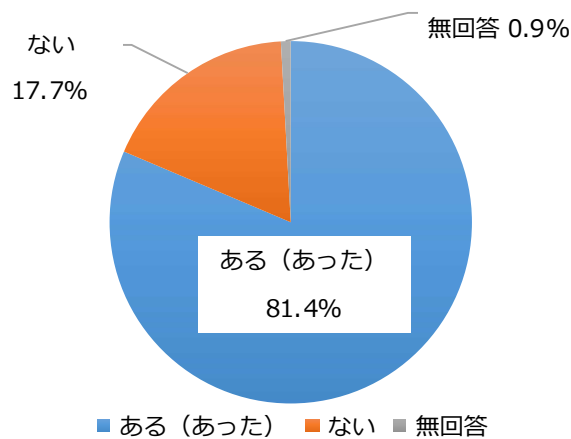
○新型コロナウイルス感染症に伴う世帯収入への影響については、「減少した」14.0%「将来減少すると感じる」11.6%で、あわせて25.6%が世帯収入に影響があると回答している。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

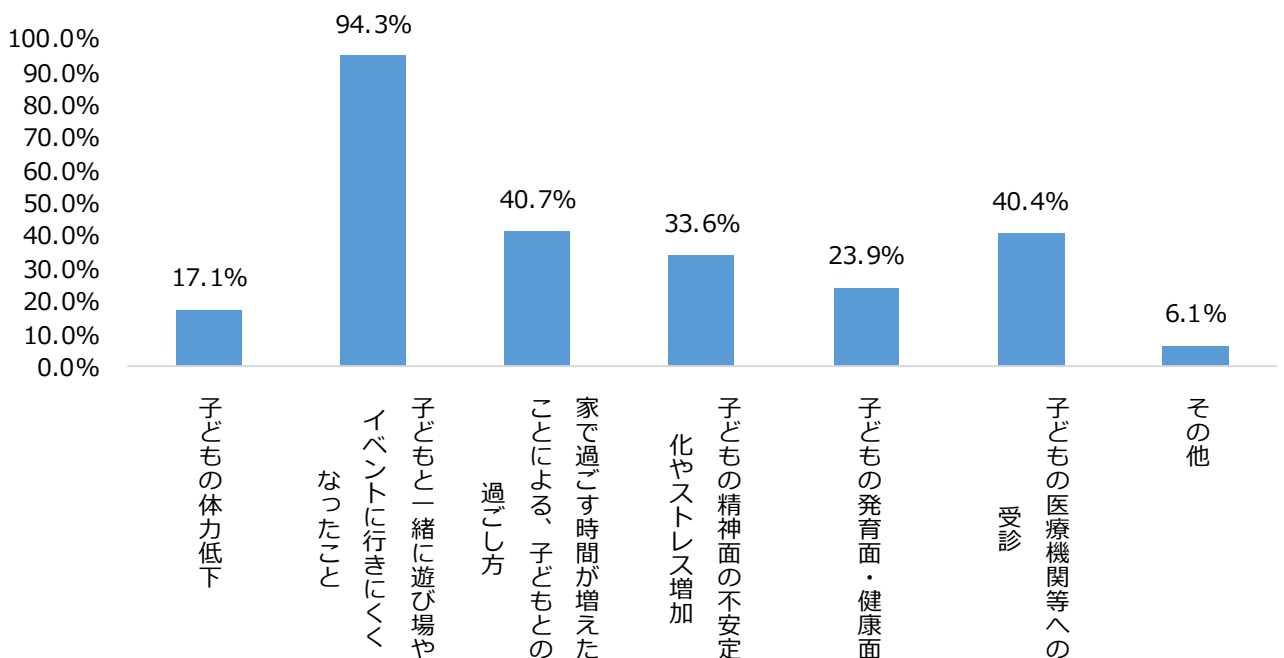
○子どものことで不安なことや困っていることの有無については、81.4%が「ある（あった）」と回答しており、具体的には「子どもと一緒に遊び場やイベントに行きにくくなったこと」が94.3%と一番多く、「家で過ごす時間が増えたことによる、子どもとの過ごし方」40.7%、「子どもの医療機関等への受診」40.4%の順になった。

問17 新型コロナウイルス感染症の影響で子どものことで不安なことや困っていることの有無



n=344

問17(1) 新型コロナウイルスの影響で子どものことで不安なことや困っていること

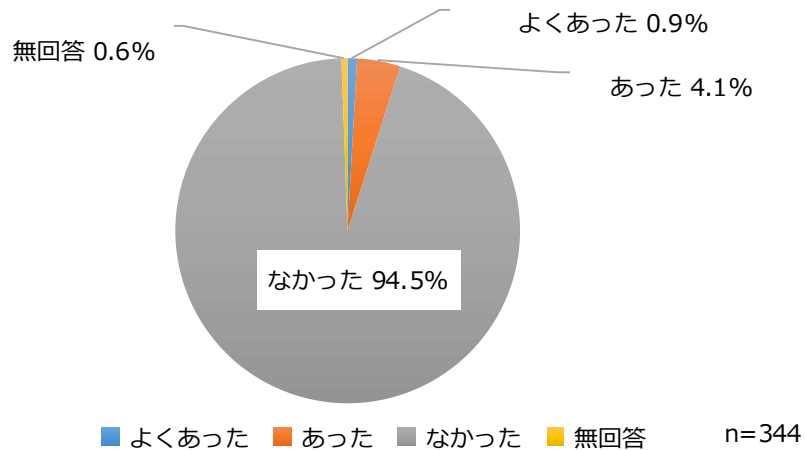


n=344

7 子育て世帯の経済状況について

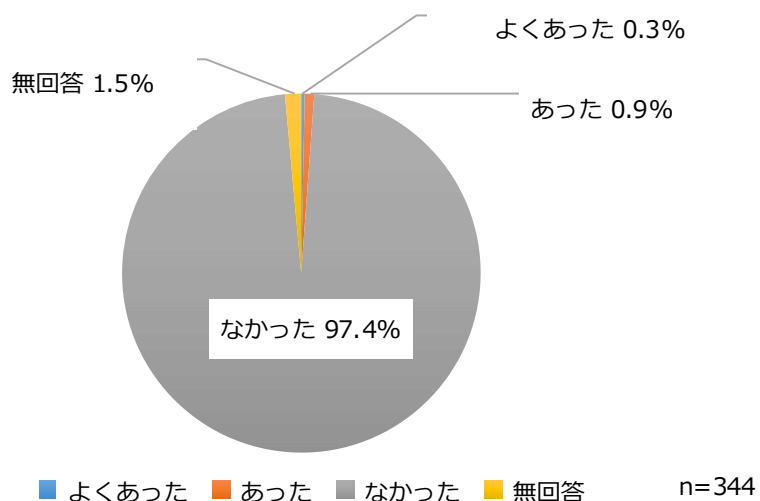
○「過去1年間に、経済的な理由で子どものために必要なものが買えないことがあったか」の質問には、「よくあった」0.9%、「あった」4.1%で具体的に買えなかったものについては子どもの衣類が多かった。

問18 過去1年間に、経済的な理由で子どものために必要なものが買えないことがあったか



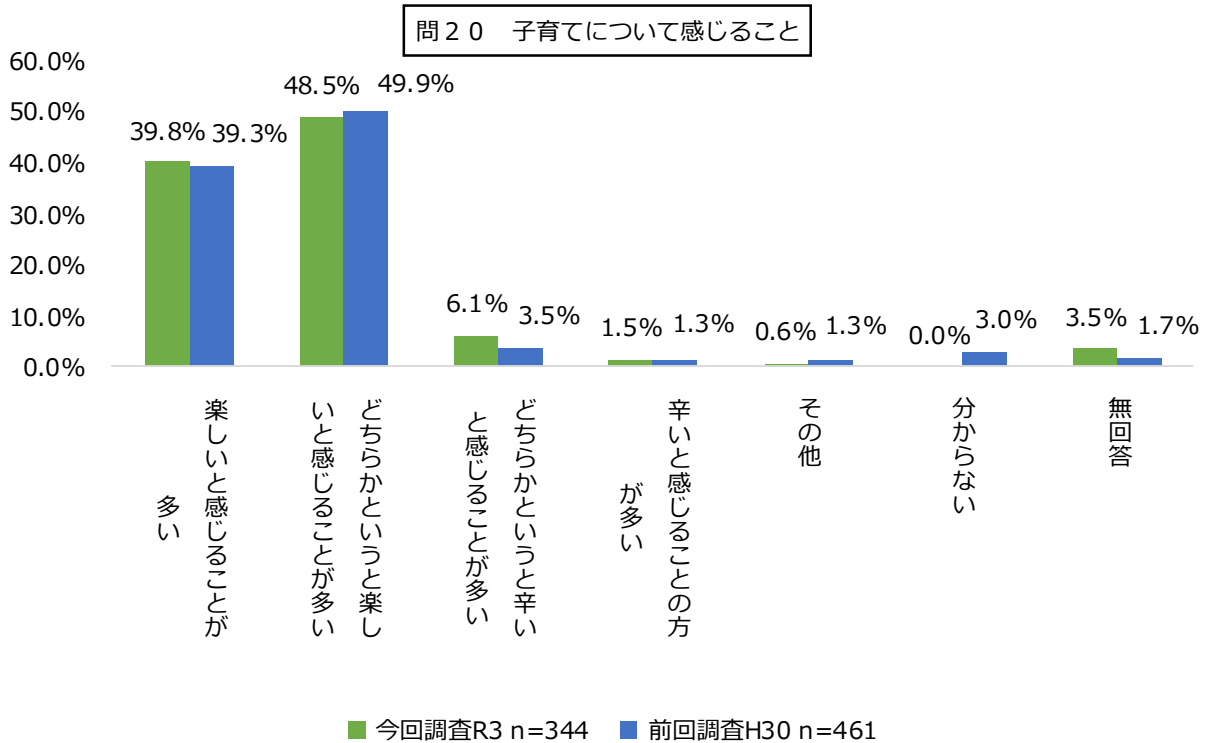
○「過去1年間に子どもの成長に必要な食材が買えないことがあったか」の質問には、「よくあった」0.3%、「あった」0.9%で具体的に買えなかったもの等については、「値上がりした野菜、全体的に食事の品数を減らした」などの回答があった。

問19 過去1年間に子どもの成長に必要な食材が買えないことがあったか

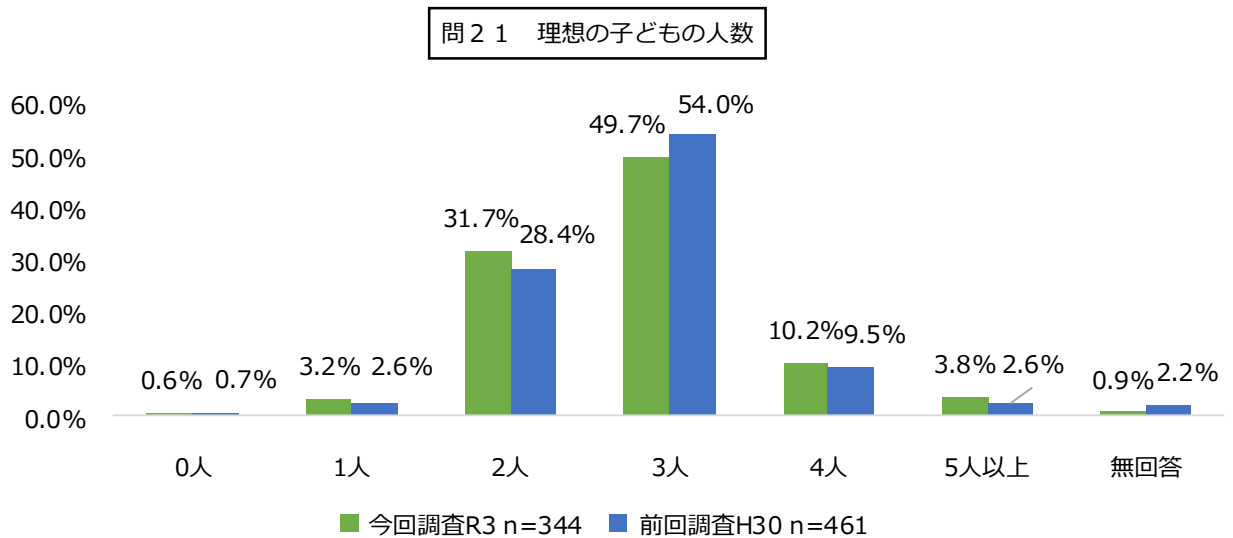


8 子育てについて感じていること等について

○子育てについては「楽しいと感じることが多い」「どちらかというとなんか楽しいと感じることが多い」をあわせて88.3%の人が子育てをプラスにとらえる回答をしている。

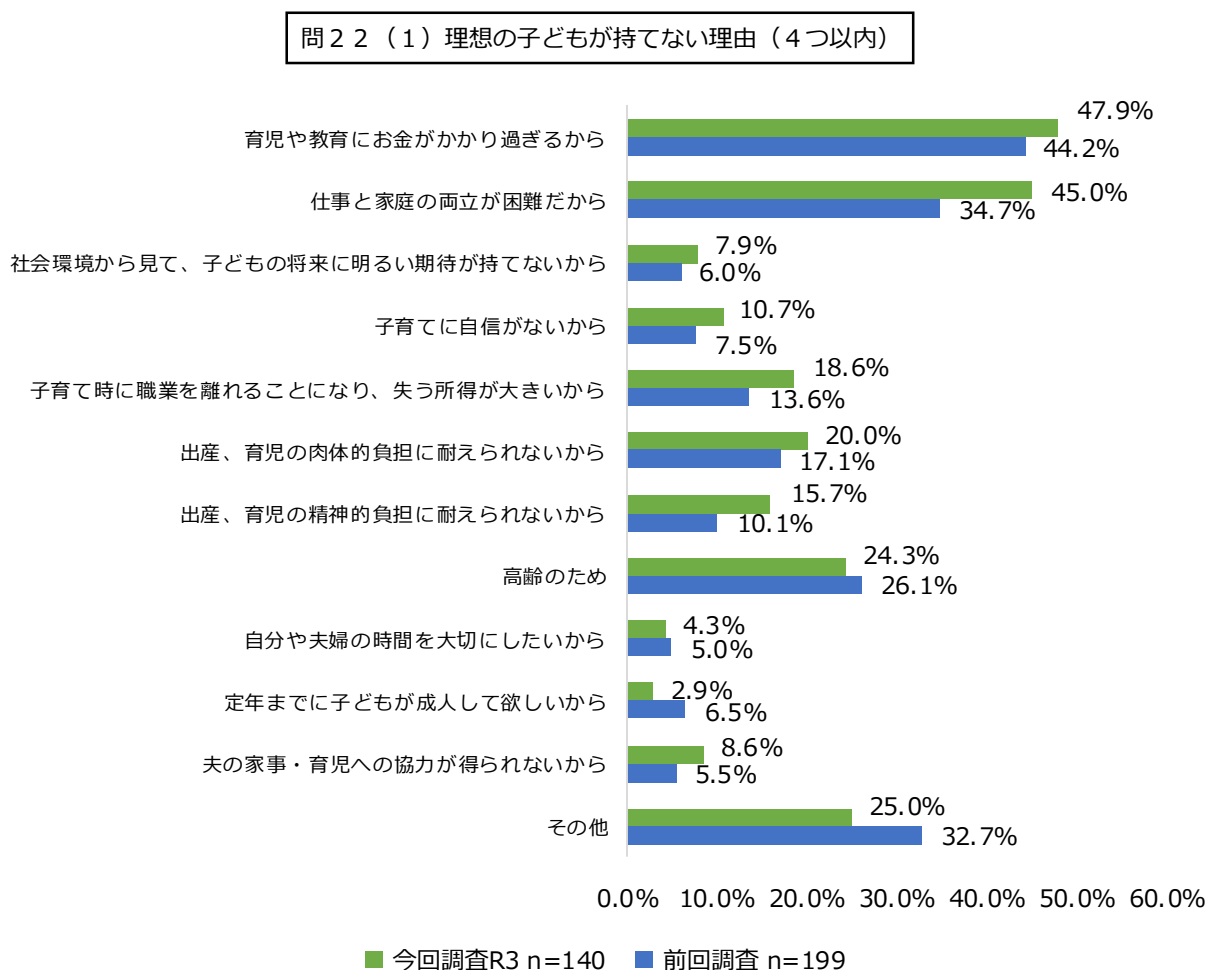
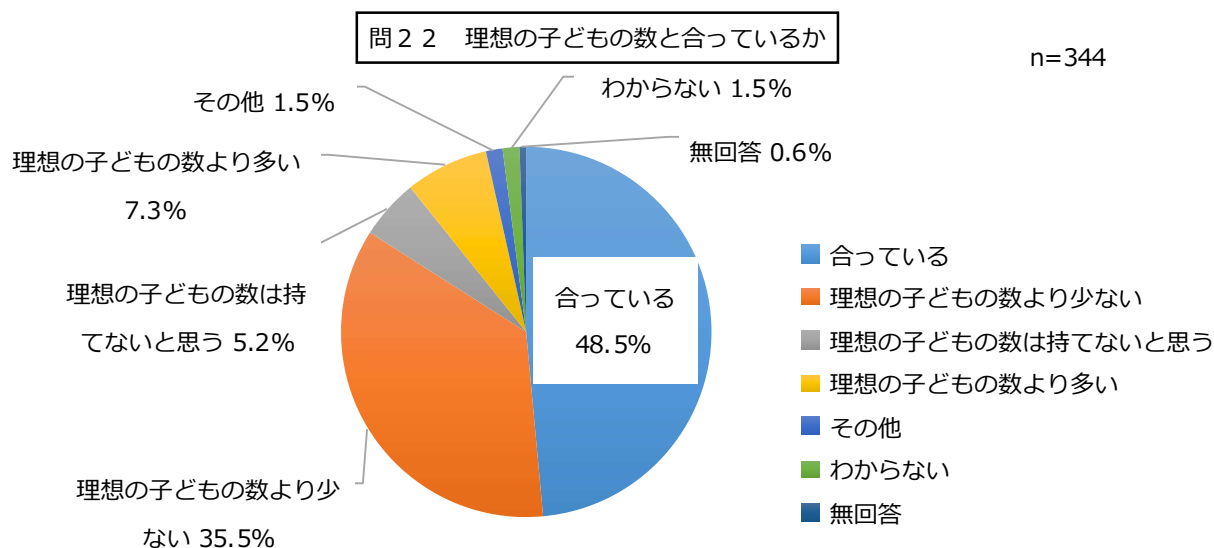


○理想の子どもの人数については、「3人」が最も多く49.7%、3人以上の希望をあわせると63.7%になる。



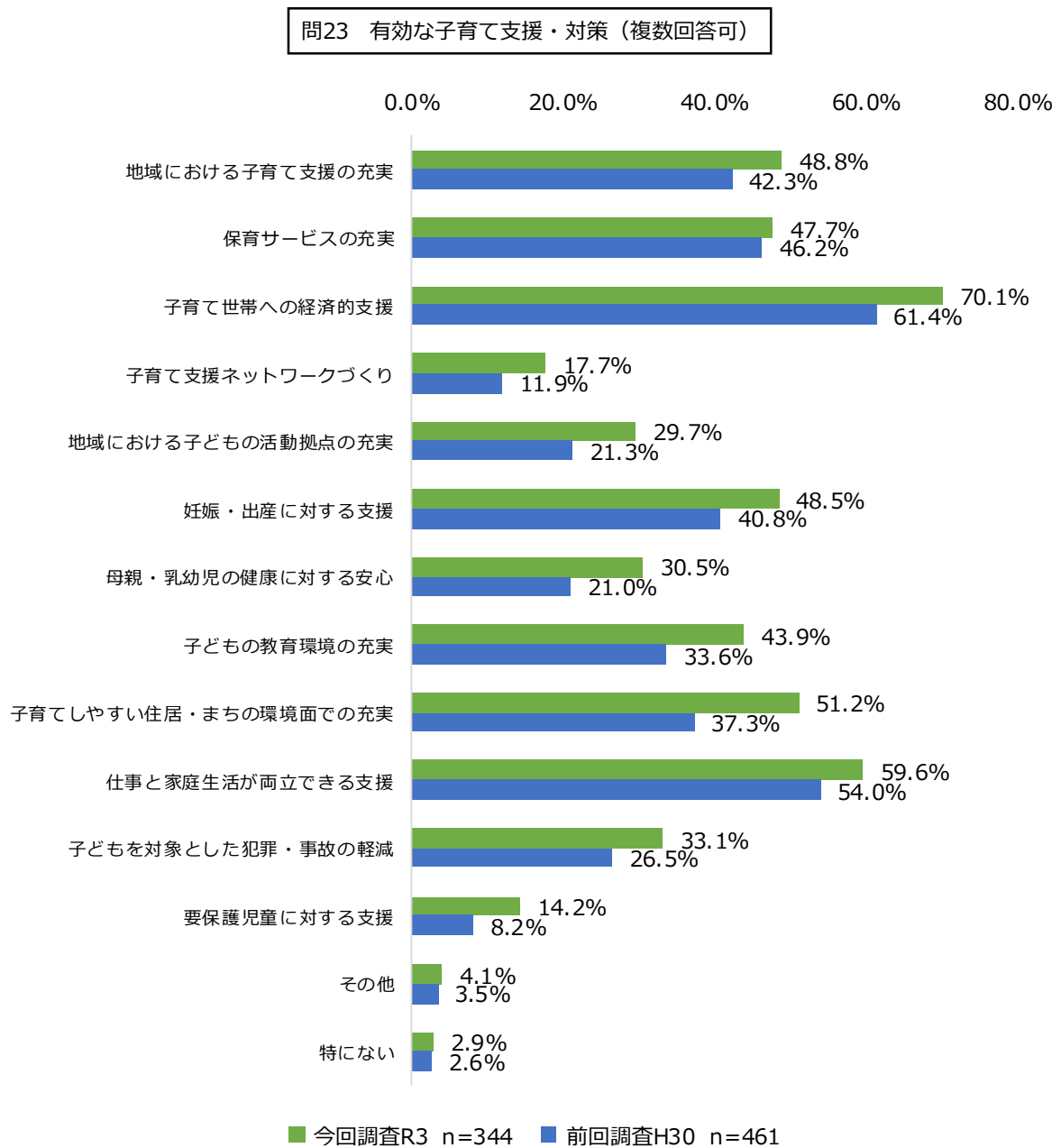
Ⅱ 就学前児童 調査結果

○「理想の子どもの数と合っているか」の質問については、約半数にあたる48.5%が「合っている」と回答している。一方「理想の子どもより少ない」35.5%、「理想の子どもは持てないと思う」5.2%となり、その理由として一番多かった回答が「子育てにお金がかかり過ぎるから」47.9%、二番目に「仕事と家庭の両立が大変だから」45.0%となり、前回調査と同様の順になった。



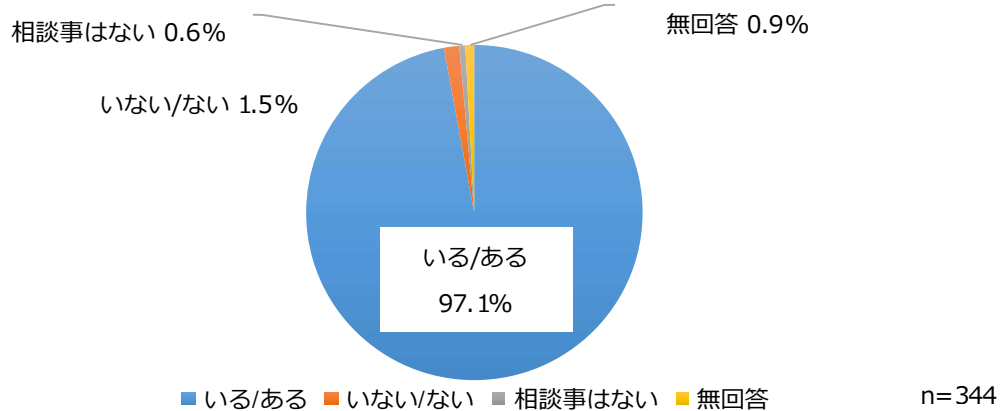
Ⅱ 就学前児童 調査結果

○有効な子育て支援としては、一番多かった回答が「子育て世帯への経済的支援」70.1%、2番目が「仕事と家庭の両立支援」59.6%の順となり、前回調査と同様の順になった。

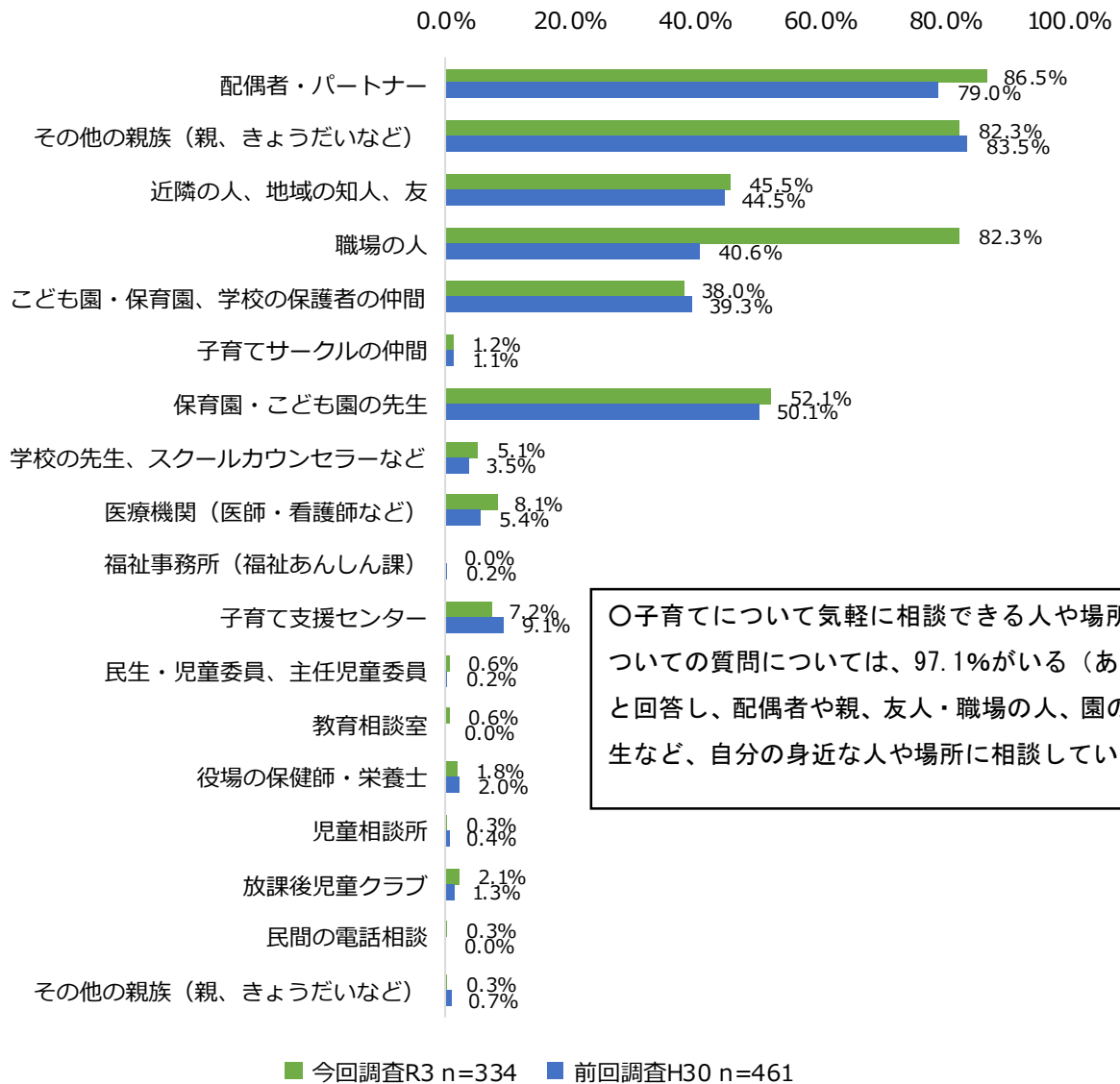


II 就学前児童 調査結果

問24 子育てに関して気軽に相談できる人、場所はあるか



問24(1) 子育てについて気軽に相談できる人、場所(5つ以内)

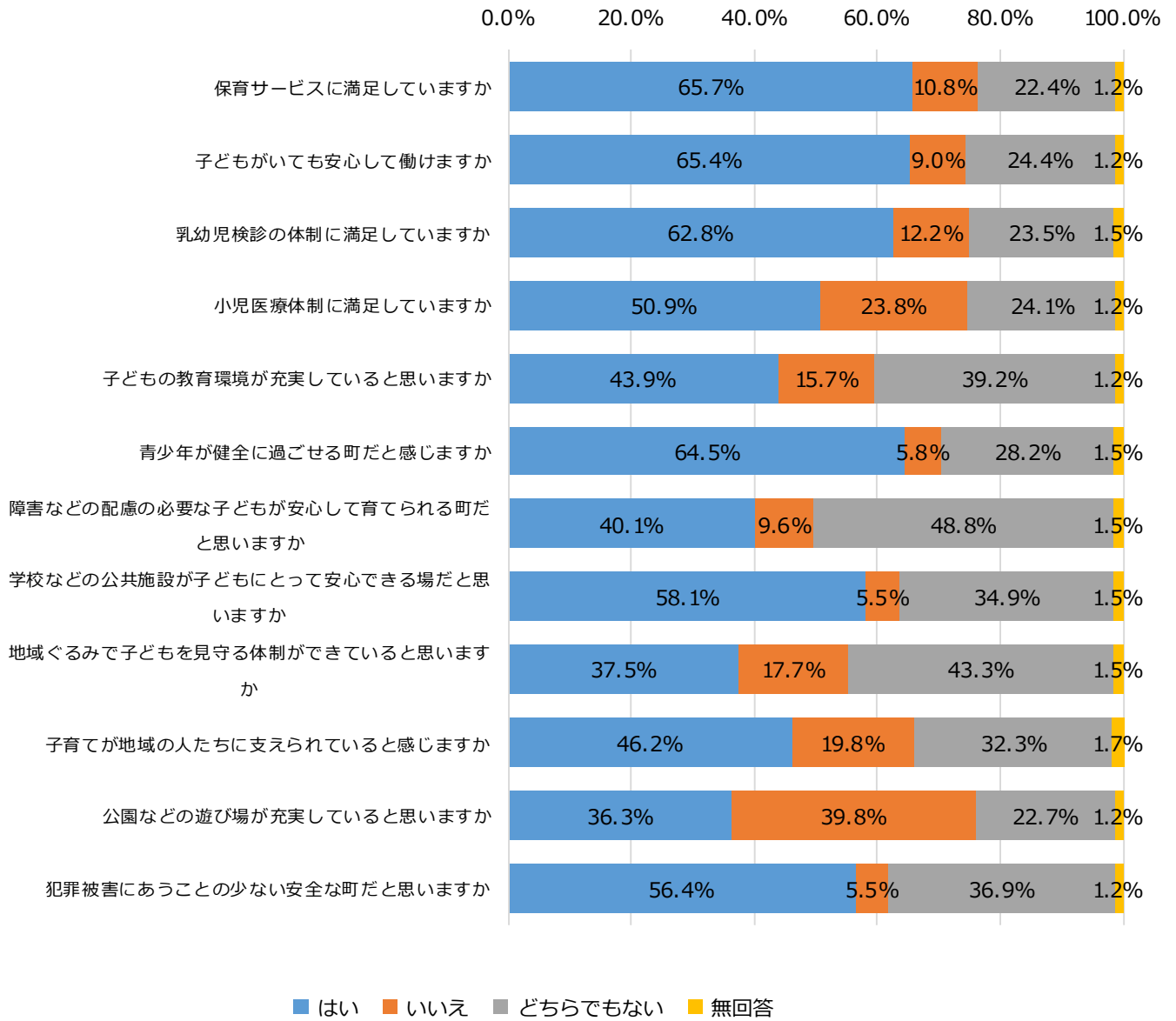


Ⅱ 就学前児童 調査結果

〇町の子育て支援について感じていることについては以下のとおりとなり、全ての項目で前回調査より「はい」の割合が高くなっている。

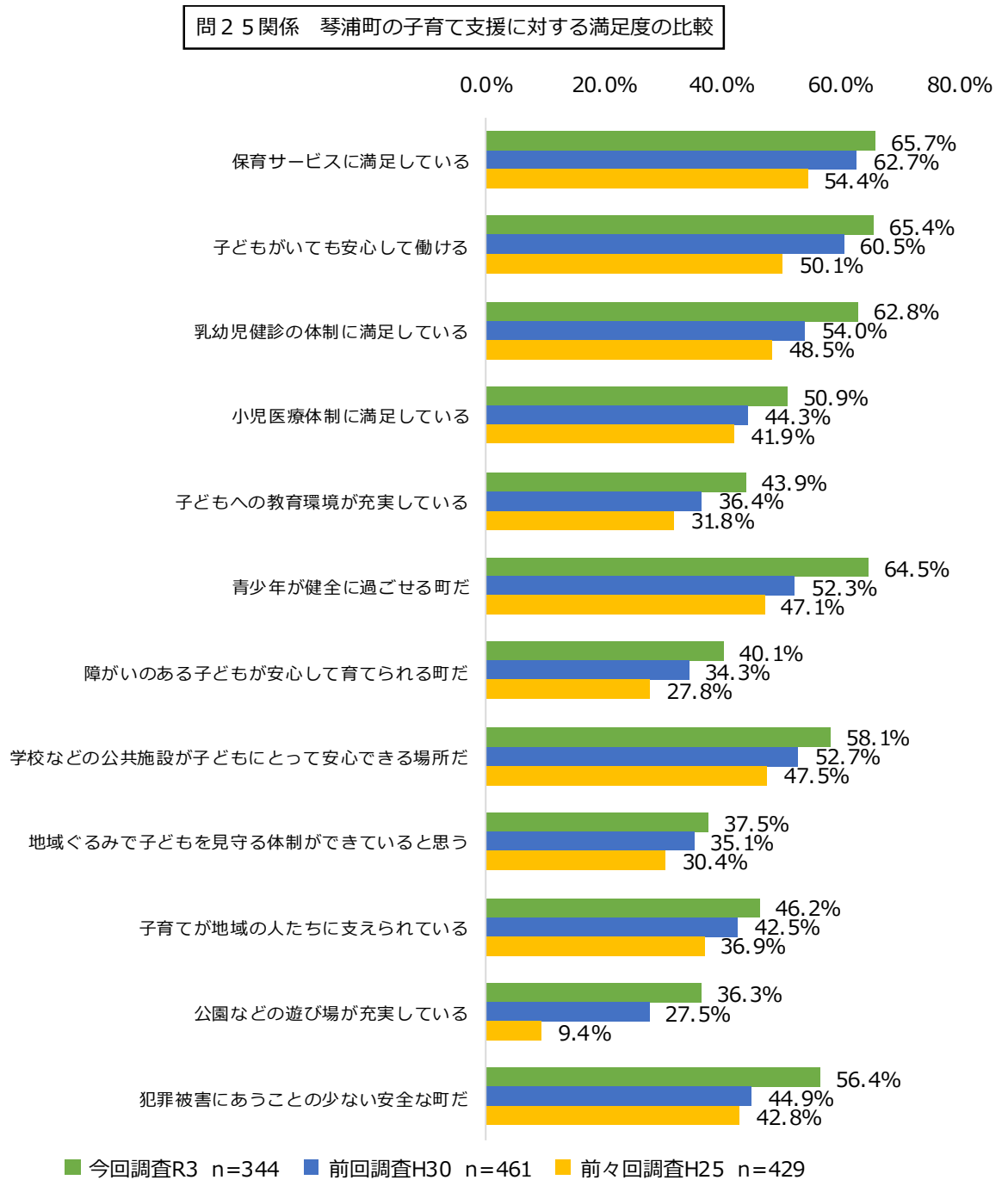
問25 琴浦町における以下の分野について感じていること

n=344



Ⅱ 就学前児童 調査結果

〇町の子育て支援についての肯定的な回答について、これまでに実施してきたニーズ調査との比較を行った。全ての項目で満足度があがっている結果になった。



9 自由記述

町の子育て支援等に関する自由記述について内容を分類すると、「こども園・保育園の保育サービス等について」が26件、「子どもが遊ぶ環境・施設等について」が16件、「子育て世帯への経済的支援について」13件等となった。代表的な意見を抜粋して掲載する。

意見の内容	件数
① こども園・保育園の保育サービス等について	26
② 子どもが遊ぶ環境・施設等について	16
③ 子育て世帯への経済的支援について	13
④ その他の保育サービスについて	8
⑤ 小学校および通学路について	6
⑥ 医療について	6
⑦ 乳幼児健診について	4
⑧ 子育てに関する相談・情報提供について	4
⑨ その他意見等について	20
合計	103

(主な意見)

1 こども園・保育園の保育サービス等について

1	仕事をしていると平日家庭のことができず休日(土曜日)に済ませたいと思っても子どもがいると済ませないことがあり、希望した時は土曜保育をお願いしたい。用をスムーズに済ませることで心の負担、子どもとしっかり関わる時間が確保でき親子関係がよいものにつながると感じます。
2	園行事が特になくなり、コロナ対応なのは仕方がないが、町内に感染者が出ていないのにしないのはどうか。もっと柔軟な対応ができないのかと思う。子どもが経験することを減らして欲しくない。何でもダメ、しないというのは、コロナ対応とは違うと思う。違った形でできる方法を考えてほしい。
3	こども園の給食について、3歳以上児のクラスは主食(白ご飯)の持参が必要だが、月に~1,000円程度自己負担してもいいので、園で準備してもらいたい。
4	琴浦町にはたくさんの保育園があるが、園の特徴がないと思う。(昨年東京から戻った)もっと園の特徴を出して、教育方針を明らかにすれば、子どもの為にもなるし、他町からの移住にもつながると思う。
5	土曜保育がことうらこども園と合同になり、普段山陰道しか使っていないので、送り迎えの際にとても不便を感じる。土曜日勤務で祖母も仕事の日、遅番とリーダー業務は外してもらっていて、職場の人に迷惑をかけているのが現状。せめて、ことうら、ふなのえを交互にもらえるなら職場への迷惑も最小限にできると思うので検討してほしい。
6	仕事との両立で、保育園や小学校の行事を同じ日に合わせて調整するなど、休みが何日もとらなくても良いようにしてほしい。また、保育参加日はなくしてほしい。休みがとりづらいから保育園に預けているのに、他の子のお世話のために休みをとる余裕は正直ないです。

II 就学前児童 調査結果

7	琴浦町は倉吉市などよりも保育園の数は少ないので、もう少し外の保育園のことを知ることも大切だと思う。保育の考え方、やり方などが少し古い気がする。外の色々な保育のやり方、現状を知り、丁寧なかかわり、保護者の対応をしてもらいたい。
8	土曜日保育は給食を出してほしい。

2 子どもが遊ぶ環境・施設等について

1	全天候型の遊べる施設があるといい。雨がふるととたんに遊ぶ所がないのが鳥取県…。特色にしては？
2	雨の日に子供を連れて行くところが本当になくて困る。どこかの体育館を無料開放して「未就学児が遊べる日」や「小学生が遊べる日」などを決めてくれたら助かります。もしこのようなことを既に行っているなら、まったく情報を知らないので周知に力を入れてほしいです。
3	土日に小さい子連れでも利用できる施設が欲しい(雨まで出掛けられず、夫もワンオペだったりすると、行き場がない)。どんぐり公園の溝が危なく感じています。必要なのでしょうか？小さい子は落ちてしまいそうで毎回気が気ではありません。
4	0～2歳までの室内遊具があればいいと思った。公共の施設で使用していない所があるのもったいない。(平日・土日・祝日でも行ける所)
5	天候の悪い日に子どもと一緒に遊べるスペースが欲しい。(倉吉市の交流プラザ2Fのような)。文化センターの利用時間を延長して欲しい(消毒のため15分くらい短くなってしまったから)

3 子育て世帯への経済的支援について

1	子どもは欲しいが、フルタイムで子育てをすると負担が多い。時短をするのは収入の減少が気になり、結局子どもの人数を制限するしかない。3人目、4人目等の手当の増額をして欲しい。子どもの人数が増えればその分、家(親)の負担が増え、仕事をセーブすれば収入が減る悪循環になる。
2	チャイルドシートの購入に補助金が出ることを知って、「琴浦町、そんなことまでしてくれるの!？」と思いました。ありがたいです。他の町の子育て支援がどのような感じが詳しくないですが、琴浦町はけっこう手厚い支援をして下さると感じています。
3	高齢出産のため第1子のみとなっています。第1子だとあまり子育て支援のサービス、補助制度等を利用する機会がないような…。第2、3子だと補助があっていいな。と思うところもあります。
4	育休・産休で休んでいる人は正職員だけではなく、パートの人もある。その中で扶養に入っている人も沢山いて育児休業給付金の額もたかが知れている額。その中で生活しているので経済的支援があると助かるし安心する。
5	コロナ禍もあり、収入が減り経済的に困ることが多い。共働きをしても影響が少なからずあり、今後が不安。それでも支出(税金や子育てにかかる費用)は変わらない。子育て世帯の負担が少なくなるような経済的支援をしてほしい。

4 その他の保育サービスについて

1	支援センターが少なくなり、どこにあるのかも分かりづらく、1人目の時は行っていたけど、2人目からは忙しくて行けなくなりました。子どもの保育園の送り迎えも仕事で行けず、家族にまかせており、地元でもないので知り合いもおらず、ママ友と呼べる人は近所にほぼおらず、別にさみしいとかはありませんが、他の地域から来ているワーキングマザーにも子どものことが話せるコミュニティがほかにあればなぁと何年も思っています。
2	子育て支援センターのアトリエ・ラボは、子どもだけでなく親も作品作りなどができ、その間先生が子どもをみてくれるので息抜きになった。
3	休日保育の料金が高すぎて利用したくてもできない。祝日やお盆などのときのサービス業の仕事なので、休まざるをえないのが困る。
4	一時保育が使えない(保育園も忙しかったり、コロナのこともあり…)ので、仕事を再開するまで家で孤独に保育していて大変だった。支援センターも人数制限があり、ファミサポも一時保育もそうだが、事前の打合せが必要とは思いつつも負担だった
5	病児保育利用しにくい、病児保育に変更してほしい。休日保育料金が高い気がする。土曜日保育のあり方をもう少し緩和してほしい。
6	病児保育等を倉吉まで行かなければならず、結局仕事を休まざるをえない。親(自分)が体調不良の時に子どもをみてもらいたい。

5 小学校および通学路について

1	小学校で支援と通常の教室を分けることによって逆に親が悩む。通常でいながら学べるように先生を高学年もつけてくれるなど、みんなと同じところで学ばせてあげたい。
2	小学校の校区を見直して欲しいです。保の自治会に所属していますが、八橋小学校まで徒歩30分、浦安小学校まで徒歩10分の住まいで、八橋小学校区なので、これから小学校に子どもを行かせることに安全面で不安を感じます。校区を見直すか、選択制にしたいのとありがたいです。(もしくはスクールバス)
3	小学校の登下校の見守りを親や先生方だけでは困難なので、車が多いところや横断歩道、人通りが少ないところなどを、地域の方をお願いできたらいいと思う。
4	扇町から赤碕小学校へ向かうカーブの道にガードレールが道路側に欲しい。カーブの谷側は、幅の狭い鉄柵に変えて欲しい。通学路が背丈の高い雑草が生えていることが多いので、もう少し早めに草刈り等除草作業をして欲しい。

6 医療について

1	妊娠、出産に対して不便さと不安を感じます。大きな病院まで車で30分以上の時間を要するので、母子が危険な状態になった時、また小さな子どもの命に関わる状態の時、病院が遠いのはかなりリスクだと感じます。費用が大きいので実現は難しいと思いますが、結果、子育て世帯や子どもの数を増やすことにつながると思います。よろしくをお願いします。
2	医療体制がもう少し整って欲しい。小児科はありますが、皮膚科と耳鼻科、子どもが必ず受診する病院がなくて困っている。

7 乳幼児健診について

1	6～8カ月健診の案内が中々来なくて不安に思いました。来たのは8カ月半ば頃で、健診は8カ月終わり（あと2～3日で9カ月）という時でした。その後すぐ9、10カ月健診もあるなら、6～8カ月でなく、6、7カ月健診の方がありがたかったです。実際、米子に住む友人は、皆6カ月の時に健診があったみたいで、友人や病院の先生にも心配されました。異常や発達の遅れがあった場合の為に、早めがありがたいです。
2	過去の乳幼児検診の際、成長曲線よりはみだして大きいという理由で大きな病院への受診をと言われた。ただ大きいという理由だけで行かされるのは親としても納得いかないし、元々両親共に大きいし、出生体重も大きかったので仕方ないと思う。手厚いと言えばそうなのかもしれないが不安にさせられる事の方が多い。はっきりとした理由、こういう病気を疑ってとか言って欲しい。結局受診しても病院のスタッフさんは大きいかなーと半笑いな感じです。
3	1歳、3歳等健診の時間が長すぎる。父親を対象とした講習会もしてほしい。

8 子育てに関する相談・情報提供について

1	こども園や役場の保健師さんなど、子どものことで相談にのっていただいたりして、本当に手厚くしてもらってありがたいと思っています。田舎ならではの堅苦しくないやり方がいいと思っています。これからも自信を持って子育て支援に取り組んでいただけたらと思います。
2	相談してもあまり状況が変わらず、相談してもあまり意味がないと感じることがあった。

9 その他意見等について

1	子育てしやすい環境だと思います。子ども園や支援センター、小学校も複数あり“選べる”ことがすごく有難いです。他の地域で子育てをしたことがないので比べられませんが、子育て世代には暮らしやすい町だと思っています。満足しています。
2	仕事だけではなく、親の息抜きとして数時間でも預かってもらえるようなところがあるとよい。
3	ベビーシッターを町が管理し、人材はアドバンス化しキャリアに応じた報酬を得られるようにしてほしい。（未就業者の有効活用を育児サポートで！）
4	にこにこ食堂（社協事業だとは思いますが）のような地域の人と交流できるような取組があるといいと思います。各部落での取組も今はなかなかないので、せめて地区単位での活動など、いろいろな大人に関わってもらえるような交流事業開催できるといいなと思います。
5	「町営住宅の老朽化」今は入居は考えていないが、情報が入ってこないため空き状況や利用料が分からない。子どもが入学する時に利用することを考える人も多いのでは。古いイメージがあるので小さな子どもでも住みやすいような環境であれば入りたいと思う。
6	東伯にはまなびタウンとうはくがあるが、赤碕地区にはない。小・中学生が集まって勉強できたりする場所（施設）が欲しい。

